



とつか

2023年1月会報 第339号

- 国際会長(IP) Samuel Chacko (Indea)
- 2022 主 題 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
- アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)
- ~ 主 題 “Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
- 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)
- 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
- スローガン “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
- 湘南・沖縄部部長(DG) 小松仲史 (厚木)
- 主 題 主 題 「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題: 入りたくなるワイズにしよう
- クラブ会長 吉原 訓 会長主題「原点回帰」
- 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計・岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



《会員ひと言》 ☆ いつの時代も “光” を感じて ☆



有田 征彦
 皆様 新年あけましておめでとう
 ございます

昨年、NHKの大河ドラマ『鎌倉殿の13人』がなにかと話題になりました。茅ヶ崎に在住の私はドラマの舞台が鎌倉をはじめ、よく出かける地域、地元であったことから、改めて感じることも多く、1年間欠かさず観てしまいました。鎌倉幕府を開いた源頼朝をはじめとする源氏が主役ではなく、初期の鎌倉幕府を執権（現在でいうなら官房長官でしょうか）という役柄で支え実権を握っていたとされる北条氏、その中で歴史上の人物では、それほど有名ではない北条義時を中心にストーリーが展開されます。源平合戦から鎌倉幕府成立、そしてその権力の座を狙い縋り広げられる様々な争いや殺りく。歴史上の事実をもとに時に面白おかしく、また時に悲しく脚本が描かれておりドラマとしては本当に面白いものでした。

一方で視点を変えると、現実にも今この時も世界では戦火が途絶えることがありません。人間はいつの時代も富や権力、国や領土のために人の命を軽んじて悲劇を繰り返しているのだということも改めて感じました。暗闇の中でも光を見たいと思わずにはいられません。

◎今月の聖句◎

父である神とわたしたちの主キリスト・イエスからの恵み、憐れみ、そして平和があるように。

～テモテへの手紙Ⅱ・第1章2節から～

あらたまの年を迎え、神も祝福しておられます。神の母に捧げられたこの日に、世界の平和と一人ひとりの幸せを祈りましょう。

今日の日が、喜びと希望と、そして平和の時となりますように…。



強調月間

EF・JEF

EFは Endowment Fund の略。国際ワイズ発展のための特別基金を指し、国際が管理・運用する。120 スイスフラン以上の寄付が原則となっている。国際が保管するゴールデンブックに記帳・永久保存される。

JEFは Japan East Y's Men's Fund の略で、東日本区ワイズ基金の意。寄付者は、その理由とともに、「奉仕帳」に記帳・永久保存される。

こちらは、東日本区が管理・運用する。「東日本区ワイズ基金規則」により運用される。委員長 高田一彦さん (千葉ウエストクラブ)

会員数		12月の会合		出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	メ	ン		他	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
メ	ン	11	メ	ン	8								
				92%									
メ	ネット	8	メ	ネット	0		0	0	0	0	0	0	0
			ゲ	スト	ら	5							
計	19	合	計	13.			0	0	0	0	0	0	0

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★



日時：2022年12月20日（火）18：00～20：00
 場所：戸塚町「生味園」
 出席者：浦出・加藤・薩摩・鈴木・瀬戸・土方・吉原・若木 ～計8名・敬称略～
 報告：① 第10回 YOU & I コンサート：11/12・都筑公会堂：入場者 350 名ほど、「良い

- ひと時を過ごした。」「懐かしい人たちに会えた。」等の報告。
 ② 第96回Y-Y's協議会（12/6）に会長と若木前部長がオンライン参加、ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加した皆さんから報告等がありました。
 ③ 第22回日本YMCA同盟主催の日本YMCA大会（11/25～27・東山荘）では、加藤利榮ワイズが長年の功績に対し表彰されました。東山荘への往復は、薩摩館長の車で送迎など大変お世話になりました。おめでとうございます。ありがとうございます。
 ④ 薩摩館長から、「2024年には湘南とつかYMCAが創立30周年迎えるので、合同式典等を…とお話しがありました。
 ⑤ 1月例会の確認：1月17日（火）18時～湘南とつかYMCA ㊦

そして、ビジネスはこの程度にとどめて…。
 いよいよ忘年会、3年ぶりの酒席が始まりました。かなり紹興酒も進みました。（ウーロン茶の人には、ごめんなさい…。）

年が明けたら、河津桜見物旅行にも行きましょう等の話題も出て、一同、記念撮影に収まり散会しました。



☆第96回Y-Y's協議会から☆ 若木 一美

12月6日（火）19時から標記会合がつづきクラブの担当・ZOOMで開かれました。年4回と回を重ね、24年にわたり開催してきた勘定、東日本区内でも類例がないようで、湘南・沖縄部各クラブが、横浜YMCAと名実ともに深い信頼関係の上に成り立っている一例でもあろう。

開会礼拝を鴨下主事からいただいたのち、今城会長の進行により、協議に入りました。

- ① 佐竹総主事から、「コロナ禍のなか、スタッフ、リーダーらの協力のもと、成果を挙げている…。」旨のご挨拶が…。
 ② 小松部長からは、「YMCAの様々なプログラムに参加できることで、今更ながらYMCAとワイズ双方の絆を実感している、今後とも更なる協力をさせていただく。」旨の挨拶が…。
 ③ 例年開催される1月の「Y-Y's合同新年会」は、コロナ収束の期待ができないことから、見送ること。

22年9月30日（金）から10月2日（日）・山中湖湖畔会場において実施されたユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加した田邊・田村両リーダーから感想と決意を込めた報告がなされた。

22年度横浜YMCA国際チャリティーランはワイズメンズクラブのご協力により無事終了することができた。当初の目標達成ができ、感謝申し上げます。

因みに、リアル大会は10月15日（土）に開催した。

次回：23年3月7日（火）19時・横浜つるみクラブ担当を確認し、定刻20：30・閉会した。

☆第2回部評議会から☆ 吉原 訓

11月26日（土）15時から16：30まで、ZOOM併用で横浜中央YMCAにおいて開催され、28名が参加しました。全体司会を板崎部書記が行い、以下の議事が採択されました。

- ① YMCAとの合同新年会はコロナ第8波の影響から残念ながら中止の旨、了承された。
 ② 「会員増強」に関する提案が厚木クラブからあったため、エクステンション委員会で検討することとした。
 ③ 諸報告・連絡
 ア 小松部長から、10月22日（土）・部大会が予定どおり開催された。また、11月5日の区役員会で「23-24年度次期理事に山田公平さん「宇都宮」が承認された。クラブへの公式訪問は終了した。
 イ 部書記から、「部評議会の出欠報告の励行方」を願いたい。
 ウ 部会計から、諸献金のクラブ每一覧表の作成は、必要ないこと。
 エ 事業主査・各クラブ及びYMCAから報告があり、その中で、古賀国際・交流主査から、東西交流会の事前アンケートの提出確認等があった。
 YMCAからチャリティーランがそれなりの成果を収めて無事終了した。ワイズのご協力に感謝。
 オ 峯尾監事から、部評議会などの事務報告は極力減らす、沖縄への支援金の在り方を検討すべき等の講評があつて、定刻終了した。

特別寄稿

☆ とつかクラブのブリテンから ☆

横浜YMCA 総主事 佐竹 博



横浜とつかクラブの皆様、いつもご支援をいただきありがとうございます。今回も貴クラブのブリテンから感じましたこと、3つほど書かせていただきます。拙文、お赦してください。

第332号、上間かな恵さんの記事。日本YMCA同盟に出向していた3年間(2004-2006年度)、出向最後の2007年2月の総主事会議が沖縄で行われました。下打ち合わせで沖縄を訪問した時、佐喜間美術館を訪問し、基地に食い込んだかのような施設の屋上から見た、基地と間近にある住宅地の近さに驚きました。同盟出向の引継ぎが、今本部事務局長の山添さんで、2月の総主事会議の夜、沖縄を二人で歩いたのを思い出しました。

第334号、木村利人さんの記事。「幸せなら手をたたこう」のエピソードはYMCAでは有名な話、NHKのドラマにもなりました。終戦を境に価値観が転換した日本の青年と、東南アジアで出会う同世代の若者たちの反応、勉強になりました。横浜クラブのメンバーだった須部さんから、この歌ができた「ワークキャンプの船に乗っていた。」と聞いたことがあります。私は、むしろこの歌のエピソードは木村さんを知るより前に須部さんから教えてもらっていました。須部さんを思い出しました。

3つ目は、第338号、谷治さんと布上さんの記事。先に書いた同盟出向時、東日本区連絡主事を担当していて、区理事は、榎村さん(富士)、藤井さん(江東)、浅見さん(グリーン)、高田さん(横浜)でした。丸々1年間一緒にいたのが藤井さんと浅見さんで、その時、谷治さんや布上さんとよく一緒にしました。特に布上さんは宴席で隣になった時など、とても楽しくお話しさせていたで、特別に印象に残っております。浅見さんと天国で楽しくされておられるのでしょうか…。

総主事として、もうちょっと書くべきことがあったかな…と思いつつ、今年もよろしく願いいたします。

今年も皆様にとって、良い年となりますようお祈りいたしております。

(佐竹総主事様、ご多用の中ご投稿賜り、誠に有り難うございました。3/6)

新春随想

☆ 会員増強に向けて



～ 未来は希望・現在は努力・過去は感謝～ ☆

会員増強事業主任 佐藤 節子 (厚木)

新年おめでとうございます。

旧年中はお世話になりました。本年も宜しく願い申し上げます。

私のワイズ歴はまだ17年ですが、入会したての折、加藤利榮さんより、「ワイズでは何かお役に依頼されたら、断らないで、引き受けなさい。勉強になりますよ…」のお言葉の教訓を今もって守り、私の信条にしております。

…ということで、本年度の東日本区では会員増強事業主任、湘南・沖縄部では会員増強事業主査を、拝命しております。

さて、本年度東日本区の会員数は770名、湘南・沖縄部は83名のスタートで始まりました。そして半年が過ぎました。

会員増強事業の最大の目的・目標は会員増強「未来に向かってまず行動しよう」であります。この推進手順としては、60名の増員を目指して、A・B・Cとチーム編成し、入会候補者リストアップの作成・入会促進です。そして「会員増強100日間キャンペーン(9月1日～12月9日)」を実施しました。

その結果、東日本区24名の入会があり、うち湘南・沖縄部では3名(厚木2名・金沢八景1名)の入会者がありました。まだ半年あります、否、あと半年になりました。ここで、皆様のお力添えが、ぜひとも必要です…。お一人でも多くの「呼び掛け・お誘い」をお願いするゆえんです。

一つ、皆様にお尋ねいたします。ご自身で、ご自分の趣味・道楽に、ひと時・我を忘れて夢中になれるモノは何でしょう。あえて「会員増強…」とは申しませんが、「楽しいクラブづくり」を考えてみませんか…。皆様がそれぞれにお持ちの「楽しみ」の一つに「クラブづくり」を加えてみられてはいかがでしょうか…。会員増強と表裏一体の関係にある「クラブづくり」、「クラブづくり」をワイズ活動に楽しく採り入れていく様々な手だてを、皆さんで考えてみましょう。夢中に楽しみをクラブづくり・クラブ活動に採り入れてみてください。

まだまだ続くであろう残りの人生を、世のため・人のため、そして自分のためにエンジョイしたいものです。

‘未来は希望、現在は努力、過去は感謝。’

《アンジュ通信》

☆地域のキャンドルナイトに協力して☆ 横浜 YMCA ワークサポートセンターアンジュ 相馬良文



12月2日(金)・3日(土)に開催された「上倉田キャンドルナイト」に作品を提供しました。

昨年までは、倉田小学校を中心に行われていたイベントが、上倉田連合町内会の主催となりました。

このため、湘南とつかYMCA・とつか保育園も関わり、かなり大きな活動となりました。

場所は、私たちが、日ごろ湘南とつかYMCAが深く関わっております東戸塚小学校のすぐ裏手にあります「区民ひろば」で、夜分など、脇の道を通っただけで、明るく・きらきらと

輝いて、とてもきれいです。

アンジュ利用者の皆さんが、牛乳パックで作ったキャンドルホルダーに、イラストやメッセージを書き込み、完成させました。有り難うございました。





瀬戸俊孝

湘南とつかYMCAのリーダー会では、環境問題の解決やSDGsを通して、自然・季節に触れ、楽しみながら環境問題について考えられるプログラムを行いたいと考えてYMCA東とつかセンターと一緒に東戸塚地域のレンタル農園を借りて2022年5月から新規にプログラムを始めました。

とつか・東とつか両センターのYMCA同士の交流のきっかけにもなることを願っています。

活動をブログやSNS、各YMCAの館内で報告をして地域の方々いろいろな形でこの活動から環境問題について考えるきっかけにしたいと思っています。実際に野菜を育てていくのはリーダーと子どもたちが中心ですが、子どもが収穫した野菜を家族で食べたり、地域の野菜について知られるような講座などを実施して、食に対しての興味・関心を高めていきたいと考えています。

野菜を育てるという経験から、普段食べている野菜などがどのようにできて、どのように自分たちの手元に辿り着くかを伝え、達成感を子どもたちに味わってほしいのです。

子どもたちと一緒に活動からいろいろな世代に伝えていきたいです。



【今月の歳時記】 “雪 ゆき ・ 湯豆腐 ゆどうふ ”

雪：毎年、北国での雪による被害は後を絶たないが、反面、雪は、「豊年のしるし」ともいわれる。

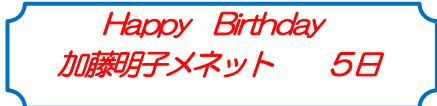
また昔から「雪月花」といって、雪は冬の景観の大きな要素にもなっている。新雪は降ったばかりの雪。根雪は春まで融けずに固まった雪で、北国特有のもの。

酒飲めばいとど寝られぬ夜の雪	芭蕉
降る雪や明治は遠くなりけり	草田男
潤む目や転校生の雪投げて	礼子

湯豆腐：昆布をだしにして豆腐を煮立て、かつお節やしょうが、ねぎを薬味に醤油や煮汁で食べる。豆腐の形をくずさずに煮るのがコツである。数多い豆腐料理の中でも、夏の冷奴とならび代表的なもの。寒い夜など、熱燗のお酒を片手に食べる湯豆腐は、酒好きの人にはたまらない…。

湯豆腐やつれ添うてほゝ五十年	躑躅
湯豆腐の大きく揺れて煮えて来し	晴子
湯豆腐や窓に嵯峨野の暮れなすむ	渡洋

◎ 1月17日(火) 18時・湘南とつかホール
近くなりましたら、皆様に担当主事から連絡させていただきます。



☆ トピックス 加藤利榮

(その一) 神村浩正さん

元横浜クラブ会員の神村さんが22年10月16日にご病気でお亡くなりになりました。21年間横浜のメンバーとして、その間、2度の会長も務められました。思えば、香港での国際大会にご一緒させていただいた折の、例のビルからビルへと公道をホテルまで、ワイワイ・ガヤガヤ言いながら歩いたことを懐かしく思い出しました…。祈 平安

(その二) 「感謝賞」受賞に思う

本来、こういった賞にはほとんど縁のなかった私ですが、このほど、YMCA 同盟から頂いた楯の文章が、中々言い得て妙と感心しました。以下にその全文を載せます。

『感謝

加藤利榮 殿

あなたは 横浜 YMCA に入会以来運営委員・事業委員などを歴任され 1991 年度にはワイズメンズクラブ 日本区理事を務められ JEF 東日本区ワイズ基金委員会の委員長など YMCA を支えるワイズメンズクラブのメンバーとして永きにわたり全国運動に多大なる貢献をされました

第22回日本YMCA大会にあたり感謝の楯を贈りここに深く感謝の意を表します

2022年11月26日

日本キリスト教青年会同盟

会長 川本 龍 資
総主事 田 口 努



～受賞後、横浜YMCAの皆さんと～

《後記》 いよいよ押し詰まりました、皆様、佳いお年を… (3/5)